



「おはようございます」は感謝とねぎらいの気持ち

「おはようございます！」 朝、玄関前で6年生と話していると、2年生の子が立ち止まってお辞儀をして挨拶をしてくれました。6年生の子は、「立ち止まって挨拶をしてえらいね」と驚いていました。しっかり挨拶ができる子、そのよさを受け止められる子、どちらもすてきだなと思います。私が違う方を向いていると、背後から「校長先生、おはようございます」と声をかけてくれる子もいます。本当に嬉しく、元気が出るので、「おはようございます。ありがとう！」と返しています。

「おはようございます」という言葉の起源は歌舞伎という説があります。歌舞伎役者は衣装や化粧の準備に時間がかかるため、公演開始時刻よりかなり前に芝居小屋に行きます。小屋の裏方さんが「お早いおつきですね」「お早くからご苦労様です」というように相手をねぎらって使っていた言葉が始まりだったそうです。また、迎えられた役者も自分たちよりもさらに早い時間から来ている裏方さんに感謝の気持ちを込めて、「おはようございます」と返したそうです。

挨拶ができる子供に育てることは、子供が将来、社会生活を営んでいくための大きなプレゼントです。特効薬はありませんが、「今日も元気でいてくれてありがとう」という気持ちを忘れず、子供の顔をしっかりと見て、「〇〇ちゃん、おはよう」と言ってみましょう。



今年度最後の学習参観 2月6日(土)

感染症対策として、参観時間の指定、参観カードの提出等、様々なことをお願いしましたが、保護者の皆様のご協力のもと、学習参観を行うことができました。ありがとうございました。

おさんの授業の様子はどうだったでしょうか。私が子供の頃、親は忙しくて授業参観に来ることが少なく、ちょっと寂しかったものです。そんな親に言われたことはただ一つ、「先生の言われることをよく聞かれ。そうすれば間違いない」だったことを懐かしく思い出します。



ピンピンの手が子供たちのやる気を感じさせます。学年や教科によっては、少人数指導を取り入れています。

上達した縄跳びを家の方に見てもらって嬉しそうな子供たち。毎日、練習している子供たちの上達はすごいです!! 6年生は家族に感謝を伝える集会をしました。小学校生活のよい思い出になったことでしょう。



雪上活動を楽しみました 5・6年生 ～国立立山青少年自然の家～



午前中はかまくらづくり、午後からチューブそりをして、思う存分、楽しみました。6年生が行った19日は新雪がいっぱいでそりがよく滑り、5年生が行った25日は雪がしまっていて、かまくらが作りやすかったようです。

・かまくらづくりでは、みんなそれぞれのところを一生懸命していたので、3人が入れて滑り台もついたかまくらができました。協力することで、一人ではできなかったことができるようになったのがすごいと思いました。(5年)

・チューブそり体験では、二人でしゃがみながら滑るのが楽しかったです。上に上がってくるときに、次の人がまた滑れるようになるべく急いで登ろうとがんばりました。(6年)

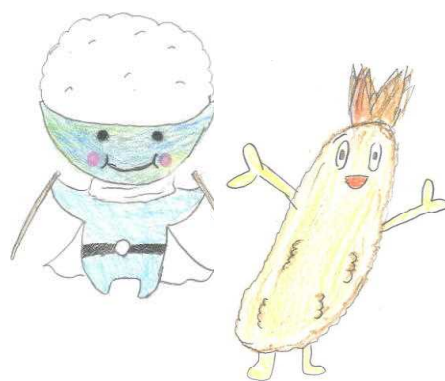
給食週間



〈今日はブラジル料理！〉



〈給食キャラクターコンテスト どのキャラクターもおもしろいね〉



今年の給食週間のテーマは「給食で世界旅行!」。世界のいろいろな食文化に触れました。地図で場所を教えてもらったり、観光を紹介してもらったりして、給食を通じて旅行気分も味わいました。

そして、6年生が家庭科の時間に考えた特別献立は、野菜たっぷり、栄養満点。好きなものばかり食べるのではなく、体のことも考えて食べる力が育っています。

さらに、給食委員会による給食キャラクターの募集では、全校児童からいろいろなキャラクターが集まりました。中はプリプリ、しっぽを残されることが嫌いな「えびボーイ」、熱や力のもとになることが得意で、パンの方が好きという子がいるのが嫌だという「ごはんマン」…どのキャラクターも作成者の個性が出ています。子供たちの柔軟でユーモアあふれる発想に思わず笑ってしまいました。また、給食アンケートで人気だった献立は3月に実施予定です。

「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけられているのが食育です。給食を通して、子供たちは多くのことを学んでいます。

貴重な体験をありがとうございます



6年生 〈射水市議会体験〉



〈薬物乱用防止教室〉

〈おほめの言葉をいただきました〉

車でグラウンド前を通った際、木材が20本ほど道に落ちていて、それを高学年の児童が10名ほどで通行の邪魔にならないように雪の上に移動していたそうです。とてもしっかりした子供たちですごく感動しましたと、学校に電話連絡がありました。心が温かくなるお話でした。

